

イヌサフラン科 チゴユリ属

# ホウチャクソウ (宝鐸草)

*Disporum sessile* D. Don ex Schult. et Schult. f. var. *sessile*

## 自生環境

山林

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因



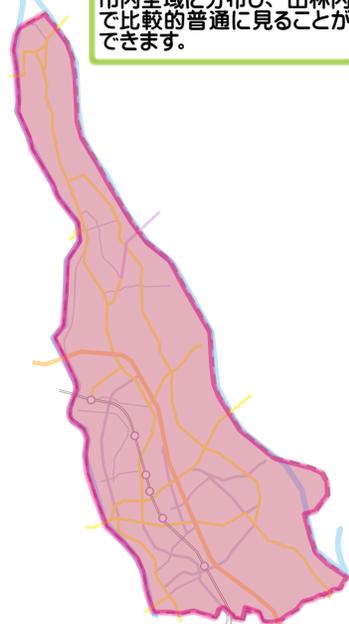
とても丈夫な草で、今のところは普通種です。しかし林は、ササ類の繁茂や不法投棄などで荒れてしまっている場所が多く、取り巻く環境はあまり良好とは言えません。

## 特徴

- ☆ 林内の薄暗い場所にごく普通に生え、地下茎で広がっていくため、しばしば群生します。冬のあいだ、地上部は枯れていますが、春になるとツノのような形の緑色の新芽が顔を出します。その後の成長は早く、あっという間に茎や葉をのびします。
- ☆ 茎は上のほうで枝分かかれし、枝は左右に広がるようにのびます。その後、茎の先から1~2個の細長い釣鐘のような花がぶら下がります。花は白を基調としていますが、先に行くほど緑色が濃くなります。名前の宝鐸（ほうちゃく）は、寺院などの軒先にぶら下げる釣鐘のことで、花のかたち由来しています。
- ☆ 地上部は花後も枯れず、そのまま秋まで残ります。あまり結実率はよくありませんが、たまに果実がつくことがあります。果実は球形で、秋になると青黒く熟します。

## 市内の分布状況

市内全域に分布し、山林内で比較的普通に見ることができます。



## 山菜採りでは要注意

春の山菜シーズンには、芽生えただばかりのみずみずしい新芽を目当てにする人も多いでしょう。しかし葉や花がある時期とは異なり、識別ポイントに乏しく、よほど知っている人でないとよく似た有毒植物とまちがえてしまう恐れがあります。ホウチャクソウも毒草ですが、新芽の時期は、アマドコロなどの山菜とよく似ているうえに、しばしばいっしょに生えているため注意が必要です。

茎は上のほうで  
いくつも枝を分ける



花は茎の先で  
下向きに咲く



花は細長い  
釣鐘のかたち

花びらの先は薄緑色

果実は秋に  
青黒く熟す



葉を揉むと  
いやな  
臭いがする



春の芽吹き。  
アマドコロ  
などの山菜に  
似ているが毒

葉に白い縞が入るもの。  
観賞用に栽培される



園芸  
品種 **フイリホウチャクソウ**



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

